

令和5年度9月 定例教育委員会会議録

令和5年9月19日(火)

山梨市教育委員会

## 令和5年度9月 定例教育委員会 議事録

令和5年9月19日(火)午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の承認
- 4 報告事項
  - (1) 9月議会答弁について
  - (2) その他
- 5 協議事項
  - (1) 9月議会答弁について
  - (2) 山梨市教育委員会会議規則の改正について
  - (3) その他
- 6 連絡事項
- 7 閉会

### ○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理人	矢野 真由美
教育委員	窪田 新治
教育委員	天野 有紀
教育委員	原 喜雄

### ○欠席者

教育委員	鈴木 徹
------	------

### ○事務局職員出席者

学校教育課 課長	磯村 賢一
学校教育担当 リーダー	土橋 朋弘
学校教育担当 指導監	小串 吾郎
学校教育担当 指導主事	志村 貴美子
学校管理担当 リーダー	小泉 健一

学校総務担当 リーダー 大島 芽久美  
学校総務担当(議事録作成者) 小田切 咲紀  
生涯学習課 課長 角田 弘樹  
生涯学習担当 リーダー 日原 勝巳

#### 4 報告事項の内容

教育長

議事に入る。(1) 9月議会答弁について、事務局から説明をお願いする。

学校教育課 磯村課長、生涯学習課 角田課長 資料1に基づき説明

教育長

この後、協議のところで全国学力・学習状況調査の結果や体育館の空調についてとりあげるが、全体的なところで委員から意見や感想等あるか。

委員

特になし。

#### 5 協議事項の内容

(1) 9月議会答弁について

教育長

9月議会答弁の内容でいくつかピックアップして、委員から意見を伺いたい。

指導主事

資料1-1 全国学力状況調査結果について に基づき説明

教育長

中学校で低かったのはどの項目か？

指導主事

55番 数学の勉強が好きか、63番 将来は積極的に英語を使う生活や職業に就き

たいか、69番 1・2年生の時にスピーチやプレゼンテーションなど授業の中でまとめた内容を発表する活動が行われてきたと思うか、の3点である。

#### 原委員

1 個1個項目別に全国と比べて数値を見るのが1番であるが、例えば小学校の項目で、「国語の勉強は好きか」の割合が、「国語の勉強は大切だと思う」の割合より2割程低い。国語が好きではないが、大切だと思って頑張っているという子どもたちが勉強していくと、これからその授業離れとか勉強離れが進むのではないか。この数値の推移を見ていって、その一方で「学校に行くのは楽しいか」が9割を超えているのをみると、個々の勉強は好きではない子どもも学校という場がそれ以外の場で楽しいと思える空間なり場所がある。それは何なのか、部活動なのか、給食なのか、休み時間なのかという分析をする必要があると思う。もう1つは、前回出された出来具合をみると、中学校数学はすごい数値は高いが、「数学が好きか」という問いについては全国に劣っていて数値が低いので、なんとか頑張っ勉強しているということが推測される。勉強は頑張る勉強から好きだから楽しいという勉強に移行していかないと、学校という存在が危ういのではないか。複合的に分析して、学校の子どもたちを捉えていく必要がある。学校によっては、勉強は好きだが出来が悪いところもあるだろう。一方で、勉強が好きではないがなんとかできているというところは、先々勉強嫌いになる可能性があるのかと思う。その上でドリル学習が多くなり、宿題やれやれと家庭学習が進められるとなおさら好きという数値は低くなっていくが、出来はよくなっている。これから学校を卒業した後、子どもたちに繋がる勉強としてどうしていくのかということも見据えて対応していかないとならない。子どもたちにとって不幸な状況になっていないか、これから明るい勉強の状態になっていくのか、先を考え、次の手を打つ材料にしてもらえればと思うので、ぜひ複合的な項目の視点で捉えていただきたい。

#### 教育長

大事な視点だと思うし、確かにこれは市の平均だが、学校ごとになってくるともう少し具体的な子どもの実態に結び付いたデータが出てくると思うので、そんな見方もしていく必要があると思う。次の校長会で説明していきたい。

#### 天野委員

小学校も中学校も英語の授業に力を入れてずっと取り組んできているかと思うが、子どもたちが自ら積極的に英語を使おうと思ったり、英語を好きだという気持ちになかな

か繋がらないのだなということを感じた。

#### 矢野委員

英語は積極的に話すことはとても難しいと思う。授業を全部英語でしているような小学校と比べると中学校に行ってから差がものすごくついてくると思う。積極的に先生方に簡単な単語でいいから、朝の挨拶とかちょっとしたことを英語で日常的に言うことが大切かと思う。

#### 窪田委員

これとは直接関係ないが、前回の全国学力・学習状況調査の結果について、児童数が少ないところの方が、点数が低いのは、1人でも点数悪い子がいれば当然比重が大きいため低くなってしまいが、その辺を学校でも分析してもらいたい。教育委員会としても本来であれば手厚くやっているはずだし、市としても当然お金をかけているはずだが、点数が入ってこないっていうのはどうなのか。しっかり説明できるように、その辺をしっかりと分析して、何をしなければいけないのかという手立てを考えてほしい。県下全体でも、もしかしたらそういう傾向なのか、全国的にもそういう傾向なのか、そのあたりをしらべていくことも大事かと思う。

#### 教育長

各学校の調査をして終わりということではなく、調査結果をこれからの改善に生かしていくことが目的である。結果分析を学校の作業の1つに入れておいて、その具体的な説明を聞いたかどうかと思うので、事務局の方で検討してもらいたい。

これだけのデータがあるので、やはりいろいろな角度から見た方がいい。算数は好きだが、中学校になると数学が嫌いになるというようなこともあるだろうが、成績からいうと、数学はよくなっていたりする。一方で、学校は楽しいとかいう質問について95%を超えていても、残りの4.5%の子どもたちがそう考えなければ大きな問題だと思う。数字に一喜一憂しないことも大事だが、また1年間を通して有効に活用していき、各学校にも示していきたいと思う。

英語については、今ALTやJTEを配置しているが、教員免許を持っていないため、担任の先生無しでは単独で授業ができない。県でこういった方に免許を出す特別免許状というものがあるが、2月に申請をすることになっている。そうするとALTが一人一人になって授業することができるので、1時間の英語授業の中で英語オンリーにするようなことや、あるいは職員室も曜日を決めて英語をなるべく使うようなことを考えている。

他にあるか。

## 指導監

2点補足したい。1点目は、課題点に目がいきがちだが、全国で10ポイント以上高まっている項目が課題項目よりも格段に多く、学校現場の先生たちにはそれだけ山梨市の教育は頑張ることができているから、山梨市がやってきたことは間違っていないということを知ってもらいたい。課題点を認識するのも大事だが、いいことについても、やはり自分たちが頑張れているということを教員が自信をもって、そう感じていけるようなアナウンスを事務局の方からもしつづつ声をかけていきたい。2点目は、英語教育については、小学校中学校でみると中学校が頑張っていて小学校の方が頑張れていないように錯覚するが、小学校のほうで力を入れてきたことが中学校に来て花開いている事実を情報として発信しなければいけないと思っている。小学校で1年生の入学時点でかなり苦しい子達もいて、大変な思いをしながら小学校で6年間かけてすごく丁寧な取り組みをしてきた結果、中学校でも継続して努力して花開いたという見方をしていくべきであると思う。小中連携で継続してやってきた結果、中学校でいい結果が表れている。これも学校全体に発信をしていきたい。

## 教育長

今回の山梨市も今までやってきたことは間違いないから、この成績を維持するように頑張っていこうと積極的に進めていく。ご理解いただきたい。

## 角田課長

資料1-2 市民体育館改修工事に伴う空調設備について に基づき説明。

## 教育長

市民体育館について、全体的な痛みもある中で外観の改修工事という話になっているが、今後使用するのに冷房をどうするかということが問題になっている。ミストの提案があり、いくつかの実験も小学校の跡地の体育館で行っているが、教育委員会内のことなので、教育委員にしっかり諮って、少し意見をまとめていただきたい。空調を入れることに反対はないと思うが、費用はかかることも事実なのでその辺を含めて忌憚ないご意見をいただきたい。

## 原委員

長年全然修理ができていないと聞き、天井の水漏れも何か所もある。そういった改修工

事に加え、空調というところで要は予算だと思う。

角田課長

空調に関しては現在適切な策を研究しているところである。1つは、現在避難所の指定にはなっていないが、物資の集積拠点や避難所にすることで、財政措置も、交付税の7割が交付される。そうすると7割が補助金で残りの3割が一般財源で起債が借りられるようなので、それは防災危機管理課と協議しているところである。国の財政措置等も受けながら市の負担軽減を図っていきたくないと頑張っている。

教育長

今避難所に切り替える対応については、同時進行で防災危機管理課の方でやっているような感じになるのでいずれ避難所の指定にはなると思う。

窪田委員

お金もかかることだから、よくよく研究してもらえないのだが、理想を言えばやはり空調。ちゃんと直して空調もいれてほしい。10年、15年も前から小中体連で色々な大会、関東大会に行ったりしたが、山梨県の施設は本当に冷房設備がなくて、他の県に行くと普通の市町村で持っている体育館でも冷房が入っている。もう10年も15年も前から関東やるところは観客席もきちんとしている。今後を考えたときにこれだけ暑くなって、9月でも暑いし、もう6月どころか5月頃から暑くなりだすなんてことを考えれば、やはり空調は入れた方がいいし入れてほしいなっていうのは無理がない。入らないと、今後大きなスポーツイベントが行われなくなるのではないかな。

矢野委員

国体もあるし、それによっても整備が始まるかとは思いますが、やはり進めていくしかないと思う。つつじ幼稚園にはミストがあるのか？

教育長

実験で使った残りがあったので南北中に寄贈しミストを使用してもらっている。

矢野委員

室内でミストはポタッと水滴があればバスケだと滑ってすぐ怪我してしまうし難しい。

教育長

霧が完全にその空気中に溶け込んでも湿度が上がってくると壁紙や床に影響が出てくるだろうというのがほとんどの意見。中学は部活ができなくなるので、そのテストさえもされては困ると言っている。今後どうしていくかについては、教育委員会としての意見を集約したい。

原委員

お金さえ問題なければ空調の方が絶対いい。

教育長

ランニングコスト削減については、ソーラーの電源、クイーンビーズ等の活用など、工夫する必要がある。

角田課長

1点訂正をお願いしたい。補助金ではなく、交付税措置ということでご理解いただきたい。7割が交付税措置ということで補足したい。

天野委員

中学校の文化祭で、体育館で子どもたちが歌を歌っているのを聞きに行ったが、ひどい暑さで、熱中症対策といいつつ長い時間子どもがそこにいることがすごく危険だと思った。小学校も早くから暑い中で体育が再開されていたかと思うが、ここだけでも空調設備が整って子どもたちが安全に活動できる場として、学校教育の場としてもこの体育館に空調設備が整って使われていくといいなと感じる。

教育長

方向性としては、空調設備を整えて活用の幅を広げたり、体育館を充実させたいということよろしいか。

矢野委員

京都に行くとタンクに水を入れておいて神社の境内でミストの中を歩くようになっている。急遽何かの大会があるときにはそういうものも使うのもあると思う。

教育長

先日送風とミストが切り替わる最新のミストで試したが、外で使うのは全く問題ないが、室内ではどうしても水がたれはしないまでも水滴が発生する問題がある。

角田課長

1時間で57Lをはきだすので、1時間でおそらく下は湿ってくる可能性がある。実証的には確かに涼しいかなと思うが、ただ濡れた場合はスリップするというようなリスクもあると思う。

## (2) 山梨市教育委員会会議規則の改正について

総務担当し

資料2に基づき説明

教育長

委員から意見等あるか？

委員

異議なし

## (3) その他

生涯学習課 山梨市赤柴地区伝統的建造物群保存対策調査事業について

生涯学習課長

資料3に基づき説明

教育長

この赤芝については、これまでもかなりの費用をかけて調査をしてきているが、この地区の人口が減少している中で空き家対策を兼ねての保存に多額の費用がかかることが懸念される。伝建制度導入に対し、莫大な費用がかかり、それに応じた地元各自の負担も出てくるため、ここできちんと見直さないといけないところが今日お諮りした理由である。こういう地区は県内でもいくつもあるが、みんなが関心をもって行ってみたいというような

ものでもないので、一般性又は汎用性をはかる意味で、再考する必要がある。

#### 窪田委員

伝統的重要建築物は全国で120か所くらいあり、この重要な建造物を保護していこうということだが、これをすぐに観光と結びつけようとする、大きな間違いになる。指定された地元の話によると、指定されてすごく観光に結びついて、地域が潤っているところはかなり少ない。我々が知っているところと言えば、白川郷、福島の大内宿、奈良県とか岐阜県の妻籠等。そのあたりは、それなりの観光客が来ていて、ある程度潤っているが、それ以外はほとんど閑古鳥である。指定はされて街並みだけが立派になって綺麗になっているが、ほとんど観光客が来てない。重要伝統的建造物の保存地区の住民がそこに住んでいることが重要であるが、資料を読むと、赤芝に住む人が減少しているとある。リノベーションや改修をして若い人たちが来ないと、指定はされても、うちは直せないわ、子孫はいないわ、お金だけはかかるわ、みたいな世界になってしまうので、やはり住民の方々の考え方を尊重することが大事。どうしても市として残したいということであれば、補助しないとかかなり厳しい。全国で宿場町や城下町というのは、ほとんど同じで、街並み見ても区別できない。写真だけ見ても、ランドマークみたいなものがなければ判別が難しい。直接観光と結びつかなくても、絶対大切なんだと思う人たちがたくさんいて、ここを残したいということが大前提としてないと、すぐにこれを観光に結び付けるのは難しい。例えば甲州市上条地区と早川の赤沢が山梨県で指定されていて、すごく観光客が行っているのって言うとはほとんどない。

#### 原委員

初めて聞く言葉だ。今の窪田委員の話のとおり、住民の意向とて、それも安易に決めないで今再検討とする場を作って、そして説明できる案でやれば問題ないとは思う。

窪田委員

街並みがそろっていて、そこに人がいて、ある程度そのお土産屋さんだとか、飲食店がや  
っていきよなところがないと、なかなか厳しい。まして宿場町になるとか、こういう農村のお  
蚕さんを飼っていた建物というのは全国に120近くあり、本当に厳しいと思う。

教育長

どういう要素で観光に結びつけていくかとなるとなかなか難しい問題があると思う。他に  
あるか。

天野委員

もっと街中であって親しんでいるところであれば、残したいという気持ちも湧いてくるかと  
思うが、本当に知らない場所みたいな感じに思う。次世代に住む人がほとんどいないとい  
うところで、今、現時点で手を入れたところで、その先が見込めないものにお金を使って残  
していくことがどうなのか、疑問を感じる。

矢野委員

指定されても自分のとこに持ち出しが多いとなると、やはりすごく検討する必要があると  
思う。

窪田委員

建築物の中は生活し易くできて、外は変えられない。

教育長

貴重なご意見ありがとうございました。また、担当の方で意見をまとめたり、方向性を示  
したいと思う。担当もずっと専門的な立場でやっているの、やっぱり残したいという気持ち

はある。ただ、客観的に意見をもらわないといけないということで、今回あえて皆さんの意見をもらう機会をもらった。

以上で議事を終了する。

議事終了